

平成30年度事業報告

事業概要

シルバー人材センターは、定年退職者等、健康で働く意欲のある高齢者がその知識と経験を活かし、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会をとおして、社会参加と生きがいの充実を図るとともに、生活の安定及び活力ある地域社会づくりに寄与することを大きな目的としています。

近年、高齢化社会が進展する中、多様化する発注者及び会員ニーズに的確に対応すべくセンターの果たす役割はますます重要になっていると認識しているところです。

こうした観点から、平成30年度は、前年度に引き続き役職員及び会員が一丸となって事業推進に努めてまいりました。

事業内容は、事業運営の健全化・効率化、会員の拡大、就業機会の確保及び提供・技能講習会の開催、普及啓発活動、安全・適正就業の推進、ボランティア（社会参加）活動、その他各種行事等を実施したところであります。

平成30年度の具体的な事業実績（派遣事業除く）については、会員数が500名（男性311名・女性189名）、受注件数が1,116件、契約金額が206,134,143円、就業延人員が33,119人日、就業率79.8%、ボランティア活動延人員377人日の実績となりました。

また、訪問家事援助事業（新総合事業）については、受注件数71件（名）、就業延人数1,989人日、契約金額2,585,700円となり、前年度よりも実績を伸ばすことができました。

労働者派遣事業については、前年度に引き続き、沖縄県連合と緊密な連携を図り、事業を推進したところであります。労働者派遣事業の実績については、受注件数、就業延人員はともに前年度より若干伸びたところですが、契約金額については、若干減少しております。また、有料職業紹介事業については、前年度を上回る実績（2件）を伸ばすことができました。

その結果、会員数、契約金額、就業延人員、就業率、ボランティア活動の延人員については、対前年度比でそれぞれ実績増となっておりますが、受注件数については、若干下回ったところであります。また、会員の状況については、新規会員が65名（男性30名・女性35名）に対して、退会者が45名（男性37名・女性8名）で、結果として前年度（480名）より20名増の500名となりました。

また、平成30年度は、第三次中期事業計画（3カ年）の初年度に当り、各数値目標の達成に向けて取り組みをしたところですが、結果的には、就業率（目標値86%）及び派遣就業延人員（目標値2,900人日）については、目標値を下回ったところですが、会員数（目標値499名）、就業延人員（目標値29,688人日）、ボランティア活動（目標値377人日）、については、それぞれ目標値を達成したところであります。

なお、各事業内容の状況については、次のとおりとなっております。

事業実績

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

- ① 第三次中期事業計画の各数値目標を達成するため、企業や公共機関、一般家庭等からの受託事業により就業機会の確保・提供、拡大を図るとともに入会促進を図った。

第三次中期事業計画

| | 実績 | 目標値 | 達成率 |
|-------------|----------|----------|--------|
| 会員数 | 500名 | 499名 | 100.2% |
| 就業率 | 79.8% | 86% | 92.8% |
| 就業延人員(請負委任) | 33,119人日 | 29,688人日 | 111.6% |
| 就業延人員(派遣事業) | 2,845人日 | 2,900人日 | 98.1% |
| ボランティア活動 | 377人日 | 377人日 | 100% |

- ② 福祉・家事援助サービス事業の拡大を図るとともに、訪問家事援助事業(新総合事業)も積極的に取り組んだ。

訪問家事援助事業

| | 平成年 30 度 | 平成 29 年度 | 前年度比較 | 前年度対比 |
|-------|------------|------------|----------|--------|
| 受注件数 | 71件 | 67件 | 4件 | 106% |
| 契約金額 | 2,585,700円 | 2,125,500円 | 460,200円 | 121.7% |
| 就業延人員 | 1,989人日 | 1,635人日 | 354人日 | 121.7% |

- ③ 就業の提供にあたっては、均衡化・適正化を図る観点からグループ就業やローテーション就業の推進に努めた。
- ④ 独自事業は、会員がその知識と経験・技能を生かし、企画・運営、創意工夫により就業機会の創出を図る事業であるが、実績を上げるまでにはいたらなかった。

⑤ 事業実績 (前年度比較表)

| | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 前年度比較 | 前年度対比 |
|----------|--------------|--------------|------------|--------|
| 会員数 | 500名 | 480名 | 20名 | 104.2% |
| 受注件数 | 1,116件 | 1,163件 | △47件 | 96% |
| 契約金額 | 206,134,143円 | 203,180,060円 | 2,954,083円 | 101.5% |
| 就業延人員 | 33,119人日 | 32,821人日 | 298人日 | 100.9% |
| 就業率 | 79.8% | 77.9% | 1.9% | 102.4% |
| ボランティア活動 | 377人日 | 337人日 | 40人日 | 111.9% |

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行う形態であるが、前年度を上回る実績(2件)を上げることができた。

② 労働者派遣事業

会員の就業機会の拡大を図るため、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業（事業所 12社・公共2ヶ所）を実施した。
なお、事業実績については、③の表のとおりです。

③ 労働者派遣事業

| | 平成30年度 | 平成29年度 | 前年度比較 | 前年度対比 |
|-------|-------------|-------------|-----------|--------|
| 受注件数 | 110件 | 94件 | 16件 | 117.0% |
| 契約金額 | 16,731,820円 | 16,939,884円 | △208,064円 | 98.8% |
| 就業延人員 | 2,845人日 | 2,651人日 | 194人日 | 107.3% |

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会を開催した。

① 対象：正会員・一般市民

② 講習内容

ア 刈払機・チェンソー・トリマーの技能講習会を実施した。

（場所：シルバー会議室及び市営プール周辺 参加者39名）

イ 清掃業務の技能講習会を実施した。

（場所：豊見城市立中央公民館及び道の駅「豊崎」 参加者25名）

ウ クロキの剪定技能講習会を実施した。

（場所：シルバー事務所前広場 参加者20名）

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

効果的かつ効率的な普及啓発活動を推進するため、一般市民、事業所、官公庁等への普及啓発活動を行った。

ア 市広報誌を活用し、毎月、入会促進及び就業拡大について記事を掲載した。

イ コミュニティ放送局「FMとよみ」の媒体を活用して、就業開拓・会員拡大の普及活動を実施した。

ウ 市役所案内コーナーに来客用としてチラシを常時置くとともに、各課にはチラシの配布を行った。

エ シルバーだより「とよむ」を発行（1,000部×2回）し、会員及び市役所・市立中央公民館・市立中央図書館、並びに関係機関に配布した。

オ シルバー事業普及啓発促進月間（10月）行事の一環として、市役所ロビーにてパネル展を開催した。

カ 市教育委員会主催の生涯学習フェスティバルにボランティア活動として参加し、子ども達や来場者に豆腐づくりの体験学習の機会を提供するとともに、普及活動を行った。

キ 自主・自立の基本理念に基づき、会員主導の意識強化を図るため普及啓発部会を開催した。（4回）また、地域班長・副班長会議を開催した。（4回）

ク 就業現場でのぼり旗を掲揚し、普及活動を行った。

ケ 新春交流もちつき大会を開催し、普及活動を行った。

コ ホームページを活用し、センターの情報発信をした。

② 安全・適正就業の推進

会員の健康維持及び、安全・適正就業の確保を図るため、安全意識の高揚と啓発活動を行ったが、残念ながら2件（前年度1件）の事故が発生した。

- ア 安全掲示板を設置して無事故日数を表示し、安全意識の高揚を図った。
- イ 安全就業・健康管理の周知徹底を図るため、安全・適正就業推進大会（7月）を開催した。（場所：豊見城市社会福祉センター（2F） 参加者105名）
- ウ 安全就業委員を各職群班から選出し、安全・適正就業の意識高揚に努めた。
- エ 安全就業委員会を開催（3回）した。（第1回16名出席 第2回10名出席 第3回10名出席）
- オ 機械・器具等の事前・事後の点検及び整備の強化を図った。
- カ 就業に必要な安全防具・防護ネット・立看板・パイロン等の整備に努めた。
- キ 会員の健康保持・増進及び生活習慣病の予防を図るため、特定検診の受診を促進した。
- ク 安全就業推進員を配置し、現場の見積り時点で安全性の確認を行った。
- ケ 毎朝、就業前に事務所前広場において、全員で一斉にラジオ体操を行い、安全就業推進員から当日の健康管理と安全・適正就業等に対する意識高揚を図った。
- コ 安全就業推進員による安全パトロール（290回）及び県連合（安全・適正就業パトロール指導員）との同巡回指導（10回）を実施した。
- サ 理事長・事務局長による安全パトロール（11回）を実施した。
- シ 安全就業委員による安全パトロール（10回）を実施した。
- ス 「安全就業基準不履行等会員に対する減点措置制度」（ペナルティ制度）を周知し、安全に対する意識の高揚を図った。

③ 調査研究

独自事業の立ち上げに向けて関係者と協議したが、実現に至らなかった。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に適した就業を開拓するとともに、入会の促進を行った。

- ア 就業機会開拓推進員が一般家庭・事業所等を訪問し、就業機会の拡大を図った。（事業所・一般家庭等 908件）
- イ 会員がチラシ配付をして会員確保・就業機会の拡大を図った。
- ウ 就業現場周辺で、のぼり旗を設置し、就業開拓、入会促進を図った。
- エ 就業機会開拓推進員が発注者を訪問し、再受注（リピーター対策）を図った。

⑤ 相談・情報提供

- ア 入会を希望する高齢者を対象に入会説明会（毎月15日）を実施するとともに、高齢者からの相談に対応した。また、センターの基本理念及び趣旨並びに事業内容を紹介し、入会の促進を図った。
- イ 会員の早期確保に向けて入会説明会を臨機応変（15日以外）に実施した。（入会説明会18回、81名参加・65名入会）

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、一般市民と連携して社会参加活動を実施した。

ア シルバー事業普及啓発促進月間（10月）行事の一環として、市道の幹線道路沿い、字宜保集落周辺及び豊崎地区の市道沿い等の清掃活動（ボランティア）を実施した。（延べ106人日参加）

イ 交通安全街頭指導のボランティア活動を夏期・秋期・冬期の年3回実施した。（延べ168人日参加）

ウ 市生涯学習フェスティバルでボランティア活動として参加し、子ども達や来場者に豆腐づくりの体験学習の機会を提供した。（延べ22人日参加）

エ 市内小学校で昔遊び体験ボランティア活動を行った。（延べ12人日参加）

オ その他のボランティア活動（延べ69人日参加）

（5）組織・事務局体制の整備強化

① 理事会を定期的開催（11回）し、組織の活性化及び運営体制の充実強化に努めた。

② 健全かつ効率的な事業運営を図るため、事務事業の改善に努めた。

③ 事務局会議を開催（毎週1回）し、情報の共有化・相互連携の徹底化に努めた。

④ 会員、発注者及び役職員に対してガイドラインの周知徹底に努めた。

⑤ 県連合が実施する各種研修会等に参加し、職員の資質の向上に努めた。

⑥ 九シ協が実施する研修会に参加し、職員の資質の向上に努めた。